

株式会社竹内工業所 環境経営レポート

2023年度

(対象期間 2023年10月～2024年9月)

2025年1月24日 作成

目次

1. 組織の概要	2 頁
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2 頁
3. 環境経営方針	3 頁
4. 環境経営目標（全社・東京本社・日立営業所）	4 頁
5. 環境経営計画（全社・東京本社・日立営業所）	7 頁
6. 環境経営目標の実績（全社・東京本社・日立営業所）	13 頁
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 及び実施体制	16 頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	18 頁
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	19 頁
10. 次年度以降の環境経営目標	20 頁

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社竹内工業所 代表取締役社長 竹内則康

2) 所在地

本社：東京都墨田区亀沢4丁目6番5号（2023年2月より対象）

【活動対象範囲】

本 社：東京都墨田区亀沢4丁目6番5号

日立営業所：茨城県ひたちなか市足崎1474-316

3) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 竹内 皇詞

担当者 取締役 竹内 皇詞

連絡先 電話 03-3623-3186

F A X 03-3623-6541

電子メール oji@takeuchi-kogyosho.co.jp

4) 事業の内容

ネジ部品及びネジ関連部品の販売

5) 事業の規模

事業規模	単位	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度
取扱量	t	1,555		1,662		1,668		1,620
従業員数	人	26		25		26		29
床面積 (本社/旧本社倉庫部)	m ²	403(旧)	252(移)	403(旧)	252(移)	252(移)	1,343	1,343
床面積 (旧本社)	m ²	462		462		462		
床面積 (日立営業所)	m ²	330		330		330		330

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

1) 対象範囲は「1. 2) 所在地」欄

及び「1. 4) 事業の内容」欄に記載。

2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。

環境経営方針

[企業理念]

株式会社竹内工業所は、不変の方針として全ての事柄に「誠意」「積極」「迅速」をもって取り組み、取引先の繁栄と、社員はもとより関係各位の幸福を目指します。

[環境経営の指針]

当社は企業理念をふまえ、ネジ部品を中心とした金属製品の販売事業活動並びに地域社会貢献活動において、全社員が地球環境の重要性を認識した上で行動します。あわせて、環境教育にも取り組みながら、環境負荷の継続的改善並びに環境関連法規の遵守等を推進し、企業の社会的責任を果たします。

[環境経営への取組の基本的方向]

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 機械設備、照明設備、空調設備、事務機器等の効率的な運用により、使用エネルギーの削減に取り組みます。
- ② エコドライブによって排ガスの抑制及び燃料使用量削減に努めます。

2. 廃棄物排出量削減

- ① 廃棄物の発生そのものを抑制する取り組みに努めます。
- ② 廃棄物となる前に、再利用を推進します。
- ③ 廃棄物の分別を徹底し、リサイクルを促進します。

3. 水使用量削減

- ① 水道使用量を定期的に把握し、節水の必要性を常に認識するよう努めます。
- ② 節水表示等を徹底し、日頃から使用量の抑制に努めます。

4. 化学物質使用量の削減

- ① 有害性化学物質の記録・管理に努めます。
- ② SDS(化学物質安全データシート)による管理に努めます。

5. グリーン購入の促進

- ① 再生材料から作られた製品を優先的に購入・使用するよう努めます。
- ② 省エネ基準適合商品を優先的に購入するよう取り組みます。
- ③ 環境ラベル認定製品を優先的に購入するよう取り組みます。

6. 環境配慮製品・サービスの提供

- ① 環境配慮型製品の取り扱いを広め、取引先に対して積極的な環境保全の提案をします。
- ② 製品に関する環境負荷データの提出等、環境に配慮したサービスを行います。
- ③ 有害性化学物質が使用されている製品の見直しに取り組みます。

7. 地域社会貢献活動の実施

- ① 行政や地域が行う「クリーンキャンペーン」に参加協力します。
- ② 地域の防災防犯防火活動に参加協力します。
- ③ 地域の交通安全推進活動、青少年育成活動に参加協力します。

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

2010年8月12日制定

2019年10月1日改定

2021年3月15日改定

株式会社竹内工業所
代表取締役 竹内 則康

環境経営目標設定表

(基準値2017年度実績)

No.		環境方針・目標項目		基準値 (2017年度実績)	CO2 換算係数	年度目標		
						2023 年度	2024 年度	2025 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量	83,181 kWh/年	0.474	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定
			化石燃料消費量の削減	油種別消費量			基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減
		灯油 <L/年>		941	2.49	847 L/年以下	837 L/年以下	828 L/年以下
		都市ガス<Nm ³ /年>		1,066	2.16	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに
		ガソリン <L/年>		11,221	2.32	10,099 L/年以下	9,987 L/年以下	9,874 L/年以下
		軽油 <L/年>			2.58	基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減
			7,439		6,695 L/年以下	6,621 L/年以下	6,546 L/年以下	
計(kg-CO ₂)		89,378 kg-CO ₂ /年以下		本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量	2,281 kg/年		基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減
				2,053 kg/年以下		2,030 kg/年以下	2,007 kg/年以下	
3	水使用量の削減 <水道使用量:m ³ >		水道使用量	1,053 m ³ /年		本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定
4	化学物質使用量の削減 <化学物質使用量:kg>		化学物質使用量	50 kg/年		維持管理	維持管理	維持管理
5	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/事務用品総購入額>		エコ商品購入率	14%		エコ商品購入率	エコ商品購入率	エコ商品購入率
						20%以上	21%以上	22%以上
6	環境配慮製品・サービスの提供 <環境配慮製品購入額/総購入額>		環境配慮製品購入率	37%		環境配慮製品購入率	環境配慮製品購入率	環境配慮製品購入率
						43%以上	44%以上	45%以上
7	地域社会貢献活動の実施		活動に年4回以上の参加			参加回数	参加回数	参加回数
						4回以上	4回以上	4回以上

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※2018年度より2017年度実績を基準値とした。

環境経営目標設定表

(基準値2017年度実績)

東京本社				年度目標			
No.	環境方針・目標項目	基準値	CO2 換算係数	2023 年度	2024 年度	2025 年度	
		(2017年度実績)					
1	電力使用量の削減	電力使用量	0.474	本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	
		76,899 kWh/年					
	化石燃料消費量の削減	油種別消費量	2.49	基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減	
		灯油 <L/年>		325 L/年以下	321 L/年以下	318 L/年以下	
		都市ガス <Nm ³ /年>		2.16	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定
		ガソリン <L/年>		2.32	8,017 L/年以下	7,928 L/年以下	7,839 L/年以下
軽油 <L/年>	2.58	基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減			
計(kg-CO ₂)	75,121 kg-CO ₂ /年以下		本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減	
		1,925 kg/年		1,733 kg/年以下	1,713 kg/年以下	1,694 kg/年以下	
3	水使用量の削減 <水道使用量:m ³ >	水道使用量		本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	本社新社屋建替え完了後のデータをもとに新たに設定	
		962 m ³ /年					
4	化学物質使用量の削減 <化学物質使用量:kg>	化学物質使用量		維持管理	維持管理	維持管理	
		50.0 kg/年		50kg/年	50kg/年	50kg/年	
5	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/事務用品総購入額>	エコ商品購入率		エコ商品購入率	エコ商品購入率	エコ商品購入率	
		14%		20%以上	21%以上	22%以上	
6	環境配慮製品・サービスの提供 <環境配慮製品購入額/総購入額>	環境配慮製品購入率		環境配慮製品購入率	環境配慮製品購入率	環境配慮製品購入率	
		37%		43%以上	44%以上	45%以上	
7	地域社会貢献活動の実施	活動に年4回以上の参加		参加回数	参加回数	参加回数	
				4回以上	4回以上	4回以上	

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※2018年度より2017年度実績を基準値とした。

環境経営目標設定表

(基準値2017年度実績)

日立営業所						
No.	環境方針・目標項目	基準値 (2017年度実績)	CO2 換算係数	年度目標		
				2023 年度	2024 年度	2025 年度
1	電力使用量の削減	電力使用量	0.474	基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減
		6,282 kWh/年		5,654 kWh/年以下	5,591 kWh/年以下	5,528 kWh/年以下
	化石燃料消費量の削減	油種別消費量	2.49	基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減
		灯油 <L/年>		522 L/年以下	516 L/年以下	510 L/年以下
		ガソリン <L/年>		2,082 L/年以下	2,059 L/年以下	2,035 L/年以下
		軽油 <L/年>		1,559 L/年以下	1,541 L/年以下	1,524 L/年以下
計(kg-CO ₂)	14,257 kg-CO ₂ /年以下		12,831 kg-CO ₂ /年以下	12,688 kg-CO ₂ /年以下	12,546 kg-CO ₂ /年以下	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 10 %削減	基準値に対し 11 %削減	基準値に対し 12 %削減
		356 kg/年		320 kg/年以下	317 kg/年以下	313 kg/年以下
3	水使用量の削減 <水道使用量:m ³ >	水道使用量		基準値に対し 6 %削減	基準値に対し 7 %削減	基準値に対し 8 %削減
		91 m ³ /年		86 m ³ /年以下	85 m ³ /年以下	84 m ³ /年以下
4	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/事務用品総購入額>	エコ商品購入率		エコ商品購入率	エコ商品購入率	エコ商品購入率
		14%		20%以上	21%以上	22%以上
5	環境配慮製品・サービスの提供 <環境配慮製品購入額/総購入額>	環境配慮製品購入率		環境配慮製品購入率	環境配慮製品購入率	環境配慮製品購入率
		37%		43%以上	44%以上	45%以上

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※2018年度より2017年度実績を基準値とした。

(基準値2017年度実績)

2023年度 環境経営計画(1)

作成: 2024年12月2日

No.		環境目標項目		基準値	目標値	CO ₂ 換算	具体的活動内容	推進責任者	担当者	実績評価項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年度計						
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	83,181 <kWh/年> 6,932 <kWh/月>	目標設定は保留データ収集中	0.474	①休憩時の消灯	常務(松岡)	柳(小田)	電力 kWh	活動予定	①②③ 実施・検証																	
							②空調の適正使用	常務(松岡)	柳(小田)		進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
							③カービズ・ウォームビズの工夫				目標値																		
							④省エネ型照明器具への切りかえ				実績値	8,565	6,460	5,867	6,914	9,814	7,662	11,619	6,590	3,623	5,758	9,306	7,562	89,740					
											実績累計	8,565	15,025	20,892	27,806	37,620	45,282	56,901	63,491	67,114	72,872	82,178	89,740						
		2) 化石燃料消費量の削減	化石燃料消費量	基準値の9%削減	<油種共通>				①省エネ運転の実行	山崎(松岡)	小宮(長嶋)	化石燃料	活動予定	①②③ 実施・検証															
					灯油 <L/年>	灯油 <L/年>	2.49	②車両の適正整備	山崎(松岡)	小宮(長嶋)	進捗評価		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	856		
					941	856	都市ガス <Nm ³ /年>	本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	2.16	③暖房器具のこまめな停止	常務(松岡)		柳(長嶋)	灯油 L	目標値	36	36	311	146	308	18	0	0	0	0	0	0	0	440
					1,066		ガソリン <L/年>	ガソリン <L/年>	2.32	④自転車の活用				都市ガス Nm ³	実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					11,221	10,211	軽油 <L/年>	基準値の9%削減 軽油 <L/年>	2.58	<油種別>				ガソリン L	目標値	813	696	876	691	724	809	756	774	1,129	947	1,026	968	10,211	
					7,439	6,769	49,871	43,286	④				軽油 L	実績値	663	601	698	778	687	689	691	528	614	604	553	625	625	7,731	
					4,156	3,607	<kg-CO ₂ /年>	<kg-CO ₂ /年以下>					CO ₂ 排出 kg	目標値	574	492	477	499	470	574	546	690	620	747	430	651	6,769		
					<kg-CO ₂ /月>	<kg-CO ₂ /月以下>							実績値	675	732	673	493	724	694	630	757	814	589	466	725	7,972			
													目標累計	3,457	2,976	4,038	3,252	3,662	3,404	3,163	3,576	4,219	4,125	3,490	3,925	43,287			
													実績値	3,280	3,382	3,605	3,376	3,611	3,588	3,328	3,178	3,525	2,921	2,485	3,321	39,599			
							実績累計	3,280	6,662	10,267	13,643	17,254	20,842	24,170	27,348	30,873	33,794	36,279	39,599										
計	CO ₂ 排出量	89,378 <kg-CO ₂ /年> 7,448 <kg-CO ₂ /月>	目標設定は保留データ収集中	[数値目標/実績]						CO ₂ 排出量 kg	目標値														0				
				実績値	7,339	6,445	6,386	6,653	8,263		7,220	8,836	6,302	5,242	5,650	6,896	6,905	82,136											
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物のリサイクル及び最終廃棄物の削減	一般廃棄物総排出量	基準値の9%削減	2,281 <kg/年> 190.1 <kg/月>	2,076 <kg/年以下> 173.0 <kg/月以下>	①再利用の促進	常務(松岡)	柳(小田)	一般廃棄物排出量 kg	活動予定	①②③ 実施・検証																	
							②修理修繕の徹底	常務(松岡)	柳(小田)		進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
							③分別の徹底とリサイクルの推進	常務(松岡)	柳(小田)		目標値	151	129	171	145	146	201	175	150	175	207	195	232	2,076					
							④資料・書類の簡素化				目標累計	151	280	451	596	742	943	1,117	1,268	1,442	1,649	1,844	2,076						
							⑤両面コピーの推進				実績値	142	110	167	147	142	584	472	182	162	172	163	173	2,616					
3	水使用量の削減	水の効率的利用	水道使用量	目標設定は保留データ収集中	1,053 <m ³ /年> 87.8 <m ³ /月>	①節水表示	常務(松岡)	柳(小田)	水使用量 m ³	活動予定	①② 実施・検証																		
						②使用量の定期的把握	常務(松岡)	柳(小田)		進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
						③				目標値																			
										実績値	0	48	0	57	0	54	0	57	0	55	0	48	319						
			実績累計	0	48	48	105	105	159	159	216	216	271	271	319														

(基準値2017年度実績)

2023年度 環境経営計画(2)

No		環境目標項目	基準値	目標値	CO ₂ 換算	具体的活動内容	推進責任者	担当者	実績評価項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年度計								
4	化学物質 使用量の削減	有害化学物質の 使用量の削減 計	化学物質 総使用量 50 <kg/年> 4.2 <kg/月>	基準値の維持 50 <kg/年以下> 4.2 <kg/月以下>		①有害化学物質の維持管理	常務	片野	化学物 質 使用量 kg	①② 活動予定 実施・検証	→																			
						②	常務	片野		進捗評価																				
						③				目標値	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50		
										目標累計	0	0	0	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	0		
										実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
										実績累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			達成評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
5	グリーン購入の推進	エコ商品購入率 14 <%>	エコ商品購入率 19%以上		①環境ラベル認定品の優先的購入	常務(松岡)	柳(長嶋)	グリーン 購入	① 活動予定 実施・検証	→																				
					②省エネ基準適合品の優先的購入				進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
					③再生品の優先的購入				目標値	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19			
									目標累計	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19			
									実績値	34	15	6	22	71	0	28	70	0	64	82	10									
									実績累計	34	18	17	18	24	21	22	22	18	22	25	23								23	
			達成評価	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
6	環境配慮製品・サービスの提供	環境配慮製品 購入率 37 <%>	環境配慮製品 購入率 42%以上		①環境配慮型製品の拡充	常務(松岡)	猪瀬(小田)	環境 配慮	① 活動予定 実施・検証	→																				
									進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
									目標値	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42			
									目標累計	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42			
									実績値	16	20	15	45	47	40	84	85	100	99	94	99									
									実績累計	16	18	17	22	26	29	36	39	51	59	73	79								79	
			達成評価	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
7	地域社会貢献活動の実施	4回/年	年4回以上の 活動への参加		①クリーンキャンペーンへの参加				① 活動予定 実施・検証	→																				
					②防災防犯活動への参加						進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
					③交通安全、 青少年育成活動への参加						目標値	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		4	
											目標累計	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4							6
											実績値	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2							
											実績累計	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	5							
			達成評価	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
【作成方法】 1. 本表は、環境目標設定(取組項目、基準値、目標値)に沿って、毎年作成する。 2. 具体的活動内容及び推進責任者・担当者は、職場内検討により設定する。 3. 活動予定欄には、月々の具体的活動予定事項を線表で表示する。 【評価基準】						【定期的確認評価コメント】 ・取組状況の確認 ・目標の達成状況						新社屋建替えの影響のある項目は目標値をたてず、しばらくはデータ収集期間とする。				新社屋建替えの影響のある項目は目標値をたてず、しばらくはデータ収集期間とする。				新社屋建替えの影響のある項目は目標値をたてず、しばらくはデータ収集期間とする。										
【是正処置・予防処置の要否】						確認・承認印																								
代表者						社長						環境管理 責任者				常務														

(注1)全項目の基準値を前年度(2017年度)とした。目標の削減率等は従来通り。

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

(基準値2017年度実績)

東京本社

2023年度 環境経営計画(2)

Main table with columns: No, 環境目標項目, 基準値(注1), 目標値, CO2換算, 具体的活動内容, 推進責任者, 担当者, 実績評価項目, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 年度計. Rows include: 4 化学物質使用量の削減, 5 グリーン購入の推進, 6 環境配慮製品・サービスの提供, 7 地域社会貢献活動の実施.

【作成方法】
1. 本表は、環境目標設定(取組項目、基準値、目標値)に沿って、毎年作成する。
2. 具体的活動内容及び推進責任者・担当者は、職場内検討により設定する。
3. 活動予定欄には、月々の具体的活動予定事項を線表で表示する。

【評価基準】
Table with columns: 活動評価基準, 活動予定進捗評価, 目標値達成評価, 評価記号. Rows: 予定通り実施 (達成), 予定実施できず (未達成).

(注1)全項目の基準値を前年度(2017年度)とした。目標の削減率等は従来通り。

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エネルギーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO2/kWhを適用した。

Summary table with columns: 定期的確認評価コメント, 是正処置・予防処置の要否, 確認・承認印, 代表者, 社長, 環境管理責任者, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務, 常務. Includes text: 軽油については運搬物量が増えていること増加している。 ガソリン、軽油とも売上げ増に伴う車両の利用頻度の増加によると思われる。 日本社ビル解体に伴う廃棄物が4月から急増した。 廃棄物は通常に戻った。他の項目もほぼ順調に推移している。

(基準値2017年度実績)

日立営業所 2023年度 環境経営計画(1) 作成: 2024年12月2日

Table with columns: No, 環境目標項目, 基準値(注1), 目標値, CO2換算, 具体的活動内容, 推進責任者, 担当者, 実績評価項目, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 年度計. Rows include categories like 1) 二酸化炭素排出量の削減, 2) 廃棄物排出量の削減, and 3) 水使用量の削減.

(基準値2017年度実績)

日立営業所

2023年度

環境経営計画(2)

No	環境目標項目	基準値(注1)	目標値	CO ₂ 換算	具体的活動内容	推進責任者	担当者	実績評価項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年度計						
4	有害化学物質の使用量の削減 計	化学物質総使用量 <kg/年> 0.0 <kg/月>	基準値の%削減 0 <kg/年以下> 0.0 <kg/月以下>		①			化学物質使用量 Kg	活動予定																		
					②				進捗評価																		
					③				目標値																		
									目標累計																		
									実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	グリーン購入の推進	エコ商品購入率 14 <%>	エコ商品購入率 19%以上		①環境ラベル認定品の優先的購入	松岡	長嶋	グリーン購入	活動予定	①実施・検証																	
					②省エネ基準適合品の優先的購入				進捗評価																		
					③再生品の優先的購入				目標値	数値は本社で一括管理																	
									目標累計	数値は本社で一括管理																	
									実績値	数値は本社で一括管理																	
6	環境配慮製品・サービスの提供	環境配慮製品購入率 37 <%>	環境配慮製品購入率 42%以上		①環境配慮型製品の拡充	松岡	小田	環境配慮	活動予定	①実施・検証																	
									進捗評価																		
									目標値	数値は本社で一括管理																	
									目標累計	数値は本社で一括管理																	
									実績値	数値は本社で一括管理																	

【作成方法】

1. 本表は、環境目標設定(取組項目、基準値、目標値)に沿って、毎年作成する。
2. 具体的活動内容及び推進責任者・担当者は、職場内検討により設定する。
3. 活動予定欄には、月々の具体的活動予定事項を線表で表示する。

【評価基準】

活動評価基準	活動予定進捗評価	目標値達成評価	評価記号
	予定通り実施	達成	○
	予定実施できず	未達成	×

(注1)全項目の基準値を前年度(2017年度)とした。目標の削減率等は従来通り。

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

【定期的確認評価コメント】

- ・取組状況の確認
- ・目標の達成状況

電力使用量については昨年度から目標未達の状況が続いている。節電への意識は高い中での、連続未達の結果であるため、今後は目標の見直しも視野に入れ、検討する。

軽油については東京本社への社内便が増加傾向にあることが要因と思われる。今後は目標値の見直しも視野に入れ、検討する。

電力使用量がなかなか削減できない。連続目標値未達が続いており、目標値の見直しも検討する。

ガソリン使用料と比較して軽油の使用量が増えている。トラック便の増加によるものと思われる。

【是正処置・予防処置の要否】

要

要

要

要

確認・承認印

代表者

社長

環境管理責任者

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

常務

6. 環境経営目標の実績(全社)

No.	環境方針項目	基準値	CO2	2023年度		
		(2017年度実績)	換算係数	目標	実績	達成度・評価
1	電力使用量の削減	電力使用量	0.474	本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	89,740	
		83,181 kWh/年				
	化石燃料消費量の削減	油種別消費量		基準値に対し 10 %削減	440	52.0%
		灯油 <L/年>	2.49	847 L/年以下		
		都市ガス<Nm ³ /年>	2.16	本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	0	
		ガソリン <L/年>	2.32	10,099 L/年以下	7,731	76.6%
		軽油 <L/年>	2.58	基準値に対し 10 %削減	7,972	119.1%
計(kg-CO ₂)	89,378 kg-CO ₂ /年以下		本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	82,136		
7,439		6,695 L/年以下		x		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量	基準値に対し 10 %削減	2,616	127.4%
		2,281 kg/年	2,053 kg/年以下		x	
3	水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >	水道使用量		本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	320	
		1,053 m ³ /年				
4	化学物質使用量の削減 <化学物質使用量: kg>	化学物質使用量		維持管理	0	○
		50 kg/年	50kg/年			
5	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/事務用品総購入額: %>	エコ商品購入率		エコ商品購入率	23%	○
		14%		20%以上		
6	環境配慮製品・サービスの提供 <電気亜鉛メッキ六角ホルトに占める三価メッキ品の割合: %>	環境配慮製品購入率		環境配慮製品購入率	79%	○
		37%		43%以上		
7	地域社会貢献活動の実施	活動に年4回以上の参加		参加回数	6回	○
				4回以上		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※2018年度より2017年度実績を基準値とした。

6. 環境経営目標の実績（東京本社）

No.	環境方針項目	基準値	CO2 換算係数	2023年度		
		(2017年度実績)		目標	実績	達成度・評価
1	電力使用量の削減	電力使用量 76,899 kWh/年	0.474	本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	63,422	
		化石燃料消費量の削減				
	都市ガス<Nm ³ /年> 1,066		2.16	本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	0	
	ガソリン <L/年> 8,908		2.32	8,017 L/年以下	6,445	80.4% ○
	軽油 <L/年> 5,707		2.58	基準値に対し 10 %削減 5,136 L/年以下	5,904	114.9% ×
	計(kg-CO ₂) 75,121 kg-CO ₂ /年以下				本社新社屋建替え中につき目標設定は保留	60,245
	2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量 1,925 kg/年		基準値に対し 10 %削減 1,733 kg/年以下	2,240
水道使用量 962 m ³ /年						
3	水使用量の削減 <水道使用量:m ³ >					
4	化学物質使用量の削減 <化学物質使用量:kg>	化学物質使用量 50.0 kg/年		維持管理 50kg/年	0	○
5	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/事務用品総購入額:%>	エコ商品購入率 14%		エコ商品購入率 20%以上	23%	○
6	環境配慮製品・サービスの提供 <電気亜鉛メッキ六角ホルトに占める三価メッキ品の割合:%>	環境配慮製品購入率 37%		環境配慮製品購入率 43%以上	79%	○
7	地域社会貢献活動の実施	活動に年4回以上の参加		参加回数 4回以上	6回	○

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※2018年度より2017年度実績を基準値とした。

6.環境経営目標の実績（日立営業所）

No	環境方針項目	基準値	CO2 換算係数	2023年度		
		(2017年度実績)		目標	実績	達成度・評価
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	0.474	基準値に対し 10 %削減	8,577	151.7%
		6,282 kWh/年		5,654 kWh/年以下		×
	化石燃料消費量の削減	油種別消費量	2.49	基準値に対し 10 %削減	440	84.3%
		灯油 <L/年>		522 L/年以下		○
		都市ガス<Nm ³ /年>	2.16			
		ガソリン <L/年>	2.32	2,082 L/年以下	1,286	61.8%
		2,313	2.58	基準値に対し 10 %削減	1,976	126.8%
軽油 <L/年>	1,559 L/年以下					
1,732				×		
計(kg-CO ₂)	14,257 kg-CO ₂ /年以下		12,831 kg-CO ₂ /年以下	13,097	102.1%	
×					×	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減		基準値に対し 10 %削減	376.0	117.4%
		356 kg/年		320 kg/年以下		×
3	水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >	水道使用量		基準値に対し 6 %削減	105.0	122.7%
		91 m ³ /年		86 m ³ /年以下		×
4	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/事務用品総購入額: %>	エコ商品購入率		エコ商品購入率	本社で一括管理	本社で一括管理
		14%		20%以上		
5	環境配慮製品・サービスの提供 <電気亜鉛メッキ六角ホルトに占める三価メッキ品の割合: %>	環境配慮製品購入率		環境配慮製品購入率	本社で一括管理	本社で一括管理
		37%		43%以上		

※二酸化炭素排出係数は2016年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.474kg-CO₂/kWhを適用した。

※2018年度より2017年度実績を基準値とした。

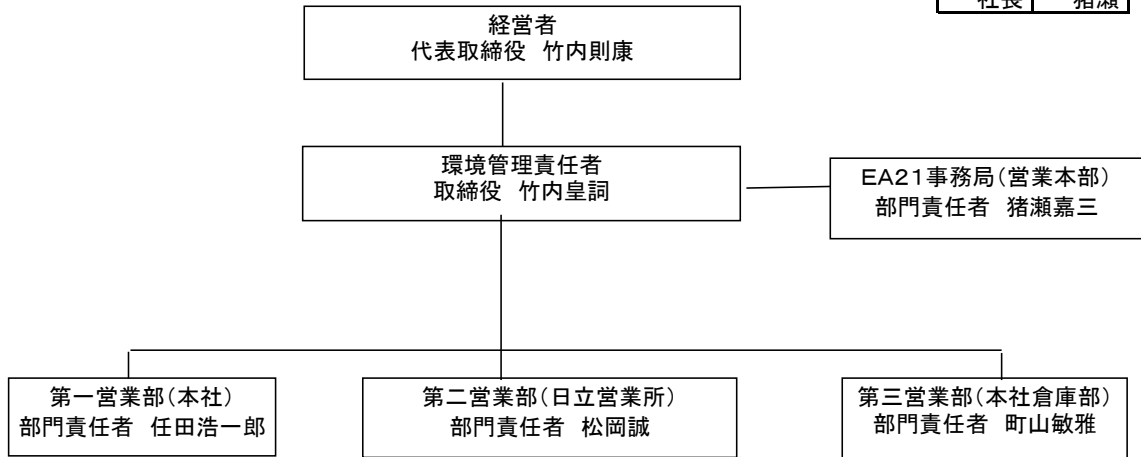
7.環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容及び実施体制

環境目標	取組項目	取 組		
		結果	評価	次年度への内容
		目標を達成できたか	なぜできたか	次へのポイント
1. .CO2削減 ① 電力使用量の削減	休憩時の消灯	○	こまめな消灯が継続できた	休憩時に限らず不要な場所の消灯の継続
	クールビズ・ウォームビズの工夫	○	定期的に購入している	繰り返しの社員教育
	空調の適正使用	○	扇風機やスポットクーラー等を使う工夫をした	さらなる工夫とON-OFFの徹底
	省エネ型照明器具への切り替え	○	新社屋の省エネ化	日立営業所での実施
1. .CO2削減 ② 化石燃料消費量の削減(ガソリン、軽油)	省エネ運転の実行	○	取り組みが浸透してきた	省エネ運転の徹底 車両入替時の低燃費車導入の検討
	車両の適正整備	○	リース契約車両は定期的に整備を行っている	リース車両以外も定期的整備を徹底する
	自転車の活用	○	使用の増	繰り返しの社員教育
1. .CO2削減 ② 化石燃料消費量の削減(灯油)	暖房器具のこまめな停止	○	貸倉庫での工夫を行った	作業場の集中化、困いなどを工夫し、さらに効率化を図る ウォームビズの工夫
2. 廃棄物排出量削減	再利用の促進	○	コピー用紙・ダンボールの再利用を徹底化	コピー裏紙利用の徹底
	修理修繕の徹底	○	再使用可能なものを手直しして使用	新倉庫への不要なものの持ち込みをしない
	分別の徹底とリサイクルの推進	○	分別・リサイクル置場を設置	町会の資源回収等の利用
	資料・書類の簡素化	×	成績書類の増加	PDF化
	両面コピーの推進	○	再利用意識の浸透	両面コピーを促す掲示
3. 水道使用量削減	節水表示	○	引き続き表示	日々の重点項目として繰り返し朝礼等で協力を要請する
	使用量の定期的把握	○	貸倉庫でも把握している	使用量の見直し
4. 化学物質使用量削減	有害化学物質の維持管理	○	極力、使用量を削減する意識を持って作業を行った	有害物資からの代替品の情報を引き続き集める
5. グリーン購入の促進	環境配慮製品の優先的購入	○	取り組みが浸透してきた	ネットなども利用し、製品情報をより広く集める
6. 環境配慮製品・サービスの提供	環境配慮型製品の拡充	○	取引先の三価使用量の増加	取引先に環境配慮志向を訴える
7. 地域社会貢献活動の実施	クリーンキャンペーンへの参加	○	参加意識を持つ	定期的に参加
	防災防犯活動への参加	○	参加意識を持つ	定期的に参加
	交通安全、青少年育成活動への参加	○	地域ぐるみでの取り組み	ポスターなどの掲示にも協力

環境経営実施体制

作成 2010/7/12

承認	作成
社長	猪瀬



役割	責任及び権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化(要求事項1) 2. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化(要求事項2) 3. 環境経営方針の制定、全従業員への周知(要求事項3) 3. 実施体制の構築(要求事項7) 4. 実施のための経営資源(人、もの、資金、情報)を用意する(要求項目7) 5. 代表者による全体の評価と見直し(要求事項14) 6. 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	1. 環境負荷と環境への取り組み状況の把握及び評価(要求事項4) 2. 環境関連法規等のまとめ及び遵守状況の把握・評価(要求事項5・13) 3. 環境目標の策定及び達成状況の確認・評価(要求事項6・13) 4. 環境活動計画の策定、実施状況の確認・評価及び問題の是正・予防(要求事項6・13) 5. その他
EA21事務局	1. 環境負荷と環境への取り組み状況の把握(要求事項4) 2. 環境関連法規等のまとめ(要求事項5) 3. 環境関連文書及び記録の作成・管理(要求事項12) 4. その他
部門責任者	1. 部門別の環境目標の策定及び達成状況の確認・評価(要求事項6・13)*2 2. 部門別の環境活動計画の策定、実施状況の確認・評価及び問題の是正・予防(要求事項6・13)*2 3. 教育・訓練の実施(要求事項8) 4. 環境コミュニケーションの実施(要求事項9) 5. 実施及び運営(要求事項10) 6. 環境上の緊急事態への準備及び対応(要求事項11) 7. その他
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取組内容の重要性を自覚し、決められたことを守り自主的・積極的に環境改善に取り組む

(閲覧ルート)

社長→部門責任者、環境管理責任者

改版履歴

版数	改定理由	改定月	承認	作成者
2	*1 人員変更のため	2011.4.1	社長	猪瀬
3	*2 東京本社と日立営業所に分けて環境目標等を立てるため	2011.12.1	社長	猪瀬
4	*3 人員変更のため	2013.6.4	社長	猪瀬
5	*4 人員変更のため	2015.10.20	社長	猪瀬
6	*5 人員変更のため	2016.4.21	社長	猪瀬
7	*6 人員変更のため	2018.4.1	社長	猪瀬
8	*7 人員変更のため	2019.9.1	社長	猪瀬
9	*8 2017年版対応のため全面見直し	2020.4.20	社長	猪瀬
10	*9 人員変更のため	2022.8.1	社長	猪瀬
11	役割変更のため	2023.10.1	社長	猪瀬

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2024年10月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。

区分	法規制名	組織の取組	遵守状況
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	①ゴミの分別収集	○
		②産業廃棄物の適正処理・抑制・管理	○
	廃棄物の処理及び再利用に関する条例	①資源リサイクル	○
		②事業系廃棄物の減量	○
資源循環	リサイクル法	各種リサイクル・適正処分	○
	家電リサイクル法		
	自動車リサイクル法		
グリーン購入	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	エコ商品選択購入	○
化学物質	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	ジクロロメタン・酸化プロピレンのSDS管理	○
	PCB廃棄物特別措置法	PCBの保管管理	○
大気汚染	フロン排出抑制法	簡易点検の実施・点検記録の保存	○

9. 代表者による全体評価及び見直し

代表者による全体の評価と見直し 結果報告書		代表者承認	環境管理責任者	
		社長	皇詞	
見直し実施日	2024年11月25日 (<input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し <input type="checkbox"/> 臨時見直し)			
見直し対象期間	2023年10月1日 ~ 2024年9月30日			
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者			
前回の見直し記録より指示への取組結果	<p>【指示項目1(環境経営目標及び環境経営計画)】①本社建替えによる影響のある項目は引き続き目標値は保留として一定期間データ収集を行い、2024年度からはそのデータをもとに新たな目標値を設定する。②環境配慮製品については過去の実績をもとに目標値の変更も検討する。</p> <p>【対応状況】①②とも指示通り実施</p> <p>【指示項目2(実施体制)】環境管理責任者の変更を考える。</p> <p>【対応状況】指示通り実施</p> <p>【指示項目3(環境経営システム等)】本社建替えにより見直し変更の必要が出てくる可能性がある。建替え後の新データをもとに検討する。</p> <p>【対応状況】新データをもとに運用の中で検討中。</p> <p>【指示項目4(その他)】①本社新社屋が2023年2月完成した。新たなデータ収集を行い、適切な対応を考えたい。②新社屋完成後も同じ地域で企業活動をしていく。「地域社会貢献活動の実施」は、「環境経営」の面で最も重要な項目と位置付けられるので、さらに充実を図る。</p> <p>【対応状況】①指示通り実施②町会をはじめ地域活動への参画回数や密度を増している。</p>			
見直しに必要な情報	<p>①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による)</p> <p>②環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(環境経営計画兼実績書による)</p> <p>③適用範囲、実施体制</p> <p>④問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正/予防処置報告書による)</p> <p>⑤外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による)</p> <p>⑥その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)</p>			
代表者による評価 経営的観点	<p>【環境経営システムが有効に機能しているか】</p> <p>①本社データは新社屋完成後の1年間の数値が揃ったので、それをもとに2024年度は目標値を設定し、環境経営に沿った活動ができているかを検証していく。日立営業所に関しては一定の効果が出ていると判断するが、現状ではこれ以上の削減は難しいと思われる。</p> <p>【環境経営への取組が適切に実施されているか】</p>			
	目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	
	二酸化炭素排出量の削減		○	2023年度はデータ収集期間としたので、目標達成の評価はない。
	廃棄物排出量の削減	×	○	主に日本本社屋の解体作業に伴い廃棄物が増加した。
	水使用量の削減		○	2023年度はデータ収集期間としたので、目標達成の評価はない。
	有害化学物質使用量の削減	○	○	基準値の維持を続けていく。
	グリーン購入の推進	○	○	コストとの兼ね合いもあるが継続して取り組む。
	環境配慮型製品・サービスへの取組み	○	○	環境配慮型製品への切り替えを推進していくが、当社の取組みと取引先のニーズが一致しないこともあり苦戦している。数値ではとらえきれない取組みもあり、その評価方法は引き続き検討しなくてはいけない。目標値の設定変更も考える。
	地域社会貢献活動の実施	○	○	主に町会を通じ地域社会とのつながりを重視している。新社屋にておいても企業活動を継続していくので、一層地域貢献を果たしていく。
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	<p>【環境経営方針】 変更の必要性：無</p> <p>【環境経営目標及び環境経営活動計画】 変更の必要性：有</p> <p>①2023年度のデータをもとに2024年度からの新たな目標値を設定する。②環境配慮製品については過去の実績をもとに引き続き目標値の変更も検討する。③日立営業所の各項目の目標数値の見直しの必要性を検討する。</p> <p>【実施体制】 変更の必要性：無 環境管理責任者を変更した。その他の体制は状況を見ながら変更の必要性を考える。</p> <p>【環境経営システム等】 変更の必要性：無 2024年度からの新目標をもとに今後考える。</p> <p>【総括】</p> <p>①本社については2023年度データをもとに2024年度からは改めて目標値を設定する。今後は新目標値をもとに適切な対応を考えたい。</p> <p>②新社屋完成後も同じ地域で企業活動をしていく。「地域社会貢献活動の実施」は、「環境経営」の面で最も重要な項目と位置付けられるので、さらに充実を図る。</p>			

注)①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。
 ②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。
 ③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。

10.次年度以降の環境経営目標

環境経営目標設定表

(基準値2023年度実績)

		全社		年度目標		
No.	環境方針・目標項目	基準値	CO2 換算係数	2024 年度	2025 年度	2026 年度
		(2023年度実績)				
1	電力使用量の削減	電力使用量	0.431	基準値に対し 1 %削減 89,740 kWh/年 L/年以下	基準値に対し 2 %削減 87,945 L/年以下	基準値に対し 3 %削減 87,048 L/年以下
		化石燃料消費量の削減		油種別消費量	基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減
	灯油 <L/年>		2.49	436 L/年以下	431 L/年以下	427 L/年以下
	ガソリン <L/年>		2.32	7,654 L/年以下	7,576 L/年以下	7,499 L/年以下
	軽油 <L/年>	2.58	7,892 L/年以下	7,813 L/年以下	7,733 L/年以下	
	計(kg-CO ₂)	78,277 kg-CO ₂ /年以下		77,494	76,712	75,929
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減 2,616 kg/年 kg/年以下	基準値に対し 2 %削減 2,564 kg/年以下	基準値に対し 3 %削減 2,538 kg/年以下
3	水使用量の削減 <水道使用量:m ³ >	水道使用量		基準値に対し 1 %削減 320 m ³ /年	基準値に対し 2 %削減 317 m ³ /年	基準値に対し 2 %削減 314 m ³ /年
4	化学物質使用量の削減 <化学物質使用量:kg>	化学物質使用量		0 kg/年	適正管理	適正管理
5	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/事務用品総購入額>	エコ商品購入率		23%	エコ商品購入率	エコ商品購入率
6	環境配慮製品・サービスの提供 <環境配慮製品購入額/総購入額>	環境配慮製品購入率		79%	環境配慮製品購入率	環境配慮製品購入率
7	地域社会貢献活動の実施	活動に年6回		参加回数	参加回数	参加回数
				6回以上	6回以上	6回以上

※二酸化炭素排出係数は2023年東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.431kg-CO₂/kWhを適用した。

※2023年度実績を基準値とした。